

2012 年防災講演会が開催されました

横浜市アマチュア無線非常通信協力会本部

撮影・編集 JK4MRL/1 松永

日時:3月25日(日)15:00 ~ 18:00 場所:NTT 東日本神奈川支店(中区山下町198)

参加人数およそ45人(本部理事、各区支部長、各区支部所属会員の合計人数)



会場を快く提供頂いた 上野 青葉区副支部長(NTT 東日本神奈川支社設備部所属)と片山副会長による開会のあいさつ

第1部 家庭と地域の防災

講演者:JA1XLU 片山晋(本部副会長) 磯子区支部

生き残りと地域共助の重要性、その取組み事例 特定小電力トランシーバの活用などについて





アマチュア無線家として地域防災への取り組みや広げ方を議論しました

第2部 家族は今どこに“安否確認の重要性”

講演者: JP1KLI 上野晋一郎さん(青葉区支部)

・171の「本当の」使い方 ・大震災時における電気通信事業者の対応と平時の準備



東日本大震災被災地での NTT グループ各社の通信ネットワーク復旧や復興支援など多岐にわたる活動についてお話がありました。

また、171 番のシステムや有効な使い方について、家族・親族間での情報の共有について説明がありました。



会場からは復旧に関する質問や設備の防・減災対策についての熱心な質問が続きました



片山副会長による閉会の挨拶
災害対策室の方にも大変お世話になり、お礼を申し上げます。

なお、ビル内・周辺の通信にデジタル簡易無線機が使われており、スムーズな行事進行にも役立ちました



神奈川支店の自信作(hi?)であるモバイルアイテムも見学させて頂きました。

衛星通信装置により「動くTV会議室」になる現地指揮車(上)

指揮車に搭載可能な 250cc バイク(下)

現地指揮車は 11 年始めに導入され、3 月には東日本大震災の被災地へ向かったとのこと
バイクも設備技術者が乗りながら、車載カメラをライブで送り、巡回対応したとのこと。

防災・減災は 家庭と地域の 取組みと情報伝達が決め手



「家族や近隣から死者を出さない」
そのためにはどうする？
発災直後の安否確認、家族との連絡
情報伝達は最初に必用で極めて重要



講演会

日時
場所

3月25日（日）15:00 ~ 18:00
NTT東日本神奈川支店（中区山下町198）

（1階「光ハウス」展示場に14:50までに集合）

第1部

家庭と地域の防災 JA1XLU 片山 晋

生き残りと地域共助の重要性、その取組み事例
特定小電力トランシーバの活用などについて

第2部

家族は今どこに"安否確認の重要性"

JP1KLI 上野晋一郎

- ・171の「本当の」使い方
- ・大震災時における電気通信事業者の対応と平時の準備

募集人数 60人程度（本部理事＋各区支部3人）

*参加者名を支部毎にまとめて JA1XLU 片山 までお知らせ下さい(ja1xlu@jarl.com)



災害時の全ての行動は情報から始まります 家族と近隣・地域そろって助かりましょう



主催：横浜市アマチュア無線非常通信協力会